

OBJスタッフから みんなへの やくそく Ver. 2

みんなが安心して楽しくすごせるように、スタッフは次のことをやくそくします。

1. みんなを大切にします

- ・一人ひとりの気持ちを大事にします。
- ・ばかにしたり、いやなことを言ったりしません。
- ・えこひいきせず、男の子も女の子もみんな大切にします。

2. スタッフが、こわいこと・いたいことをしたりしません

- ・たたいたり、むりやり何かをさせたりしません。
- ・こまっているのを知っていながら、そのままにしたりしません。
- ・こわがらせるためにどなったり、いじわるをしたりしません。

3. からだと心を守ります

- ・からだにふれるのは、ひつようなときだけにします。
- ・いやがることや、はずかしいことはしません。
- ・みんなが安心できるように行動します。

4. ひみつで二人きりになりません

- ・できるだけ、ほかのスタッフや子どもたちから見える場所で話します。
- ・車での送りむかえや、おとまりのときも、二人きりにならないようにします。
- ・どうしても二人だけになるときは、その前にほかのスタッフにつたえます。

5. 写真やれんらくのきまりを守ります

- ・写真や動画は、決められたスタッフがひつようなときだけとります。
- ・それいがいのスタッフは、写真や動画を、かってにとりません。
- ・とった写真や動画は、やくそくしたもくてき いがいで使いません。
- ・スタッフは、電話番号やSNS などを、こじんてきにこうかんしません。

6. こまったときはすぐに動きます

- ・あぶないことや、へんなことを見つけたら、すぐに他の大人のスタッフにも知らせます。
- ・みんなが「いやだ」「こわい」と言ったときは、ちゃんと話を聞きます。
- ・みんなの安全をいちばんに考えて行動します。

みんなへ

- ・人にされていやなことがあったら「やめて」と言っていていいです。
- ・こわいことやこまったことがあったら、すぐに一番話しやすいスタッフに知らせてください。
- ・話してくれたことで、あなたがおこられたり、こまったりすることはぜったいにありません。

- ・友だちがこまっていたら、大人に知らせてください。

保護者のみなさまへ

当団体は、子どもの安全・尊厳・権利を最優先にし、すべての活動においてセーフガーディングの考え方に基づいて対応します。車での送迎や宿泊など、やむを得ず子どもとスタッフが二人きりになる場面では、事前共有・報告に加え、スタッフ自身の様子を動画で記録するなど、透明性を確保するためのルールに基づいて対応します。記録した動画は安全確保の目的以外には使用せず、定められた期間で適切に廃棄します。

もしお子さまが、不安や違和感を話された場合は、まず気持ちを受け止め、遠慮なく以下の連絡先までご相談ください。組織内でご相談しにくい内容の場合は、児童相談所虐待対応ダイヤル「189(いちはやく)」もご利用いただけます。

<美方連絡先：電話0796-97-3600・メールsora@obs-mikata.org>

児童相談所虐待対応ダイヤル：189(いちはやく) ※通話料無料・24時間対応